

プログラム

学会 1 日目 11 月 24 日 (土)

第 1 会場 (東京慈恵会医科大学新橋校 2 号館 1 階講堂)

9:00~9:05 開会の挨拶

9:05~9:30 会長講演

「性感染症の今後の課題」

司会：荒川 創一 三田市民病院

演者：清田 浩 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 泌尿器科

9:30~10:00 特別講演

「厚生労働科学研究荒川班の総括から見た性感染症における今日的課題」

司会：小野寺昭一 湖山リハビリテーション病院

演者：荒川 創一 三田市民病院

10:00~10:30 教育講演 1

「北米における性感染症予防～プロバイダーの重要性～」

司会：清田 浩 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 泌尿器科

演者：野口 真理 BC Centre for Disease Control BCCDC clinic Specialists in Clinical Medicine
(2000-2001)

10:30~12:00 シンポジウム 1 (日本性感染症学会 卒後・生涯学習プログラム)

「性感染症の迅速診断：どこまで進歩し、将来どのような技術が実現できるのか」

司会：三嶋 廣繁 愛知医科大学大学院医学研究科 臨床感染症学

濱砂 良一 新小倉病院 泌尿器科

S1-1 淋菌感染症の迅速診断—いま必要とされていること—

大西 真 国立感染症研究所 細菌第一部

S1-2 梅毒の迅速診断の方向性—検査手技時間の短縮化と感染成立後陽性判定可能までのタイムラグの短縮化を目指す

中山 周一 国立感染症研究所 細菌第一部

S1-3 感染症の迅速診断：ここまで進化している

山岸 由佳 愛知医科大学病院 感染症科/愛知医科大学病院 感染制御部

12：10～13：00 ランチョンセミナー 1 共催：塩野義製薬株式会社

「インフルエンザの診療を考える～バロキサビル的位置付けを含めて～」

司会：廣津 伸夫 廣津医院

演者：三嶋 廣繁 愛知医科大学大学院医学研究科 臨床感染症学

13：10～14：10 第5回定時社員総会・表彰式

14：30～16：30 シンポジウム 3

「梅毒の現状と今後の課題 2018」

司会：石地 尚興 東京慈恵会医科大学 皮膚科学

山岸 拓也 国立感染症研究所 感染症疫学センター

S3-1 梅毒の動向 Update

山岸 拓也 国立感染症研究所 感染症疫学センター

S3-2 診断：自動化法による血清診断について

斎藤万寿吉 東京医科大学 皮膚科学分野

S3-3 アンケート調査からみたわが国における治療の現状

石地 尚興 東京慈恵会医科大学 皮膚科学

S3-4 梅毒の流行にどのように対応していくか

～東京都における梅毒への対応について～

杉下 由行 東京都福祉保健局 健康安全部感染症対策課

16：45～17：30 イブニングセミナー 1 共催：富士フイルム富山化学株式会社

「性感染症に対する POC (point of care) 診断と抗菌薬治療の今後のあり方」

司会：田中 正利 福岡大学医学部 泌尿器科学

演者：高橋 聡 札幌医科大学医学部 感染制御・臨床検査医学

第2会場（東京慈恵会医科大学新橋校 1号館 3階講堂）

9:27~10:03 一般演題1「疫学1」

座長：三嶋 廣繁 愛知医科大学大学院医学研究科 臨床感染症学

- O-01 当社郵送検査における STI 陽性率に関する検討（2017～2018）
若林 泰史 株式会社 GME GME 医学検査研究所 検査部
- O-02 若年者で増加してきている性器クラミジア感染症
山岸 拓也 国立感染症研究所 感染症疫学センター
- O-03 全国から弊社に依頼された HIV 検査の集計結果～続報 2013 年～2017 年～
渡辺 薫子 株式会社エスアールエル 感染免疫部
- O-04 北九州地区における性感染症の発生動向調査—過去 20 年間の推移—
松本 正広 産業医科大学 泌尿器科

10:03~10:30 一般演題2「疫学2」

座長：五十嵐辰男 聖隷佐倉市民病院 泌尿器科

- O-05 妊婦における細菌性膣症（BV）、性器クラミジア感染、頸管炎の頻度と risk factor の検討
島野 敏司 中標津町立病院 産婦人科/札幌医科大学 産婦人科
- O-06 当院における妊婦のクラミジア子宮頸管炎・淋菌感染症の検討
藤田 智子 金沢医科大学 産科婦人科学
- O-07 非 HIV 感染 MSM を対象としたコホートにおける性感染症の実態について
水島 大輔 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

10:30~12:00 シンポジウム2

「性感染症感染拡大防止のために」

司会：白井 千香 枚方市保健所

川畑 拓也 大阪健康安全基盤研究所 微生物部ウイルス課

- S2-1 性感染症におけるサーベイランスとアウトブレイク対応、海外でのパートナーサービス
中瀬 克己 吉備国際大学保健医療福祉学部
- S2-2 東京都南新宿検査・相談室での HIV および性感染症への取り組み
城所 敏英 東京都南新宿検査・相談室
- S2-3 感染症届け出制度・保健所の積極的疫学調査・日本の法律制度の中での接触者健診
川本 哲郎 同志社大学 法学部

12：10～13：00 ランチョンセミナー 2 共催：極東製薬工業株式会社

「実地臨床における梅毒抗体検査結果の読解法 II」

司会：井戸田一朗 しらかば診療所

演者：古林 敬一 そねざき古林診療所

15：00～16：30 シンポジウム 4

「子宮頸癌/HPV ワクチンの現状と課題」

司会：川名 敬 日本大学医学部産婦人科学系 産婦人科学分野

野口 靖之 愛知医科大学 産婦人科学

S4-1 HPV ワクチンの有効性

上田 豊 大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学

S4-2 HPV 予防ワクチン積極的接種勧奨差し控えの弊害

本郷 淳司 川崎医科大学 産婦人科学 2

S4-3 HPV ワクチンの副反応・有害事象の問題

岡部 信彦 川崎市健康安全研究所

S4-4 HPV ワクチンの今取り組むべきこと～海外と日本の違い

川名 敬 日本大学医学部産婦人科学系 産婦人科学分野

16：45～17：30 イブニングセミナー 2 共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

「性感染症の現状と感染拡大を防ぐために必要な行動」

司会：中川 秀己 東京慈恵会医科大学 皮膚科

演者：安田 満 岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター/

岐阜大学研究推進・社会連携機構 微生物遺伝資源保存センター（GCMR）

第3会場（東京慈恵会医科大学新橋校 1号館 5階講義室）

9:05~9:32 一般演題3「淋菌1」

座長：遠藤 勝久 JR 東京総合病院 泌尿器科

O-08 播種性淋菌感染症の1例

安田 健一 東京慈恵会医科大学 皮膚科

O-09 CTRX 耐性 *N. gonorrhoeae* および CTRX 低感受性 *N. subflava* に対する *penA* 遺伝子解析

金坂伊須萌 東邦大学看護学部 感染制御学

O-10 淋菌に対する piperacillin と tazobactam/piperacillin の薬剤感受性の検討

桧山 佳樹 札幌医科大学医学部 泌尿器科学

9:32~9:59 一般演題4「淋菌2」

座長：村谷 哲郎 株式会社キューリン 検査部

O-11 埼玉県における男子淋菌性尿道炎に対する各種抗菌薬の臨床的検討（2016、2017年）

沼崎 進 埼玉西地区泌尿器感染症研究会

O-12 都内淋菌分離株の薬剤感受性と分子疫学解析

三宅 啓文 東京都健康安全研究センター 微生物部

O-13 男子淋菌性尿道炎由来淋菌の薬剤感受性（2018年）

塩野 裕 相生 23 クリニック

9:59~10:26 一般演題5「淋菌3」

座長：鷺山 和幸 さぎやま泌尿器クリニック

O-14 福岡市における各種薬剤耐性淋菌の分離状況

古屋隆三郎 福岡大学医学部 泌尿器科

O-15 関東地方において分離された *Neisseria gonorrhoeae* の各種抗菌薬感受性に関する検討

小林 寅喆 東邦大学看護学部 感染制御学

O-16 2015~2017年にわが国で分離された淋菌の薬剤感受性報告

安田 満 岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター/
岐阜大学 微生物遺伝資源保存センター

12:10~13:00 ランチョンセミナー3 共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

「インテグラーゼ阻害剤の現状と展望」

司会：古賀 一郎 ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカル・アフェアーズ部門

演者：杉浦 亙 ViiV Healthcare, Asia-Pacific Regional Medical

14 : 30～15 : 30 認定士への集い

「性感染症学会認定士と性感染症予防活動に関わる会員の集い」

委員長代行 石地 尚興

認定士委員 齋藤 益子、白井 千香、渡會 睦子、村谷 哲郎

日本性感染症学会認定委員会

15 : 30～15 : 57 一般演題 6「尿道炎 1」

座長：青木 九里 東邦大学医療センター大森病院 泌尿器科

O-17 尿道炎原因微生物の診断に関する検討—原因微生物と排尿痛の程度—

伊藤 晋 あいクリニック

O-18 尿道炎原因微生物の診断に関する検討—原因微生物と潜伏期間—

伊藤 晋 あいクリニック

O-19 尿道炎原因微生物の診断に関する検討—迅速免疫クロマトキットを用いたヒトアデノウイルス
および単純ヘルペスウイルスの検出—

伊藤 晋 あいクリニック

15 : 57～16 : 24 一般演題 7「尿道炎 2」

座長：重村 克巳 神戸大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学分野/保健学科

O-20 当院を受診した尿道炎患者の起因菌と感染ルートの検討

茂田 安弘 西船橋泌尿器科クリニック

O-21 当院を受診した男子急性尿道炎患者に対する臨床的検討

野村 博之 原三信病院 泌尿器科

O-22 非淋菌性尿道炎に対するガレノキサシンの有効性

清田 浩 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 泌尿器科

16 : 45～17 : 30 イブニングセミナー 3 共催：株式会社 LSI メディエンス

「非淋菌性尿道炎の診断と治療の実際—*Mycoplasma genitalium* を中心に—」

司会：出口 隆 木沢記念病院 泌尿器科

演者：伊藤 晋 あいクリニック

第4会場（東京慈恵会医科大学新橋校 1号館 6階講義室）

9:05~9:32 一般演題8「マイコプラズマ」

座長：田中 一志 北播磨総合医療センター 先端医療センター（ロボット手術部門）・泌尿器科

O-23 日本人男性における尿及び肛門のマイコプラズマ検出率についての検討

川口 昌平 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 泌尿器集学的治療学

O-24 パイロマークシーケンス法を用いた *Mycoplasma genitalium* 薬剤耐性遺伝子解析法の開発

柳原 朱子 株式会社 LSI メディエンス 感染症検査部

O-25 日本由来 *Mycoplasma genitalium* 株の薬剤感受性と遺伝子変異の関係

濱砂 良一 新小倉病院 泌尿器科

9:32~9:59 一般演題9「その他1」

座長：余田 敬子 東京女子医科大学東医療センター 耳鼻咽喉科

O-26 生殖補助医療分野における性感染症治療の実際

小堀 善友 獨協医科大学埼玉医療センター 泌尿器科・リプロダクションセンター

O-27 保健所における匿名性感染症検査の課題

白井 千香 枚方市保健所

O-28 最近の1年間に当科で経験した咽頭症状から診断に至った性感染症の3症例

谷野 絵美 東京女子医科大学東医療センター 耳鼻咽喉科

15:00~16:30 日韓シンポジウム

English session

「日本と韓国での性感染症サーベイランス」

司会：Seung-Ju Lee Department of Urology, The Catholic University of Korea

Shingo Yamamoto Department of Urology, Hyogo College of Medicine

JK-1 Laboratory Tests and Epidemiology of STI in Korea

Mi-Kyung Lee Department of Laboratory Medicine, Chung-Ang University College of Medicine, Korea

JK-2 The National STI Surveillance System in Korea, Two-year experience 2017-2018

Seung-Ju Lee Department of Urology, The Catholic University of Korea

JK-3 The recent data from national STI surveillance in Japan—focused on rapid increase of syphilis comparing with data in US—

Soichi Arakawa Sanda City Hospital, Hyogo, Japan